**第4回Skeletal Science Retreat 参加申込書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **フリガナ**  **氏名** | **年齢　　　　　歳** | **性別　　男　・　女** |
| **所属　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　職位（または学年）** | | |
| **連絡先　〒**    **E-mail 　　 　 TEL 　　　　　　　　　　FAX** | | |
| **研究歴（研究期間、所属研究室および研究テーマを簡単に記載してください）** | | |
| **＜参加希望の動機や抱負など＞** | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **演題名（全角50文字以内）** | | | |
|  | | | |
| **抄録本文（10ポイント以上で記入してください。枠内であれば図表の挿入も可）** | | | |
| ＜補足＞  １．研究内容は完成していなくても問題ありません。グループディスカッションで、問題点の議論や実験のトラブルシューティングを行います。  ２．遺伝子名や化合物を公表したくない場合は「遺伝子Ｘ」「コンパウンドＡ」などで記載してもＯＫです  ３．抄録内容は、非公開とします。応募の審査にだけ使用します。 | | | |
| **＜Q&Aセッションでの相談の希望＞**  （1日目の夜、講演の演者、運営委員、参加者が研究領域ごとに分かれ、懇親会形式で皆様の研究上の疑問について全員で話し合って考える”Q&Aセッション”を行います。ご自身の疑問を取り上げてほしい、という希望がありましたら、この欄に簡単に記載して下さい。） | | | |
| **キーワード** |  |  |  | |

**第4回Skeletal Science Retreat 参加申込書**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **フリガナ** コツタイシャ　　マナブ  **氏名**　骨代謝　　　学 | **年齢**３４**歳** | **性別　　男　・　女** |
| **所属**なにわ大学歯学部生化学教室　　　　　　　**職位（または学年）**助教 | | |
| **連絡先**〒612-8082  大阪市中央区1-1-1  **E-mail** ssr@naniwa.co.jp  **TEL** 06-468-8772　　　　**FAX** 06-468-8773 | | |
| **研究歴（研究期間、所属研究室および研究テーマを簡単に記載してください）**  2008-2013 江戸大学医学部整形外科　「変形性関節症におけるHifの役割の解明」  2013-2015　四国大学医学部生化学教室　「骨粗しょう症における性ホルモンの役割の解明」  2015-現在　なにわ大学歯学部生化学教室　「軟骨細胞分化メカニズムの解明」 | | |
| **＜参加希望の動機や抱負など＞**  **参加希望者が定員を超えた場合に参考にします。研究への熱い思いや、骨代謝スクール参加への意気込みをアピールしてください。** | | |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **演題名（全角50文字以内）** | | | |
|  | | | |
| **抄録本文（10ポイント以上で記入してください。枠内であれば図表の挿入も可）** | | | |
| 骨格形成の主体をなす軟骨細胞は未分化間葉系細胞から分化誘導するが、その分子メカニズムは未だ不明な点が多い。本研究では、軟骨細胞分化を制御する新規転写因子のクローニングを目的に、ヒト軟骨肉腫細胞株HCS細胞をBMP2により軟骨細胞へと分化誘導し、RNAを回収しマイクロアレイ解析を行った。その結果、転写因子Xをクローニングした。軟骨細胞特異的に遺伝子Xを欠損させたマウスは重度の骨格形成不全を示した。現在、遺伝子Xが軟骨細胞分化を促進する分子メカニズムの解明を行っている。 | | | |
| **＜Q&Aセッションでの相談の希望＞**  遺伝子Xは転写因子なので、次世代シーケンサーを用いた転写解析などを行いたいと漠然と考えていますが、研究室でも経験者がおらず、近辺に機器もないのでどのように進めればいいか思案しています。いろいろとアドバイス頂ければと思います。 | | | |
| **キーワード** |  |  |  | |